

(令和5年度当初) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 秋田県 (都道府県: 秋田県)
本事業の担当部局名 あきた未来創造部 次世代・女性活躍支援課

事業メニュー	地域結婚支援重点推進事業			
区分	一般メニュー			
関連事業メニュー	1.1.2 結婚希望者の出会いの機会づくりを目的としたイベント・スキルアップセミナー			
個別事業名	婚活スキル向上事業	新規／継続 (一般財源での 実施も含む)	継続	
実施期間	交付決定日 ~	令和6年3月31日	事業開始年度	R2 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	1,675,900 円			
自治体における少子化 対策の全体像及びその 中での本個別事業の位 置付け ※(注)2	(地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け) ＜地域における実情と課題＞ 秋田県は、若年層の県外流出による社会減の進行のほか、独身者の意識変化及びライフスタイルの多様化等による未婚・晩婚・晩産化の進行が影響し、婚姻件数と出生数は、年々減少しており、人口の自然減に歯止めがかからない状況である。 このような中、県人口の自然減を抑制するためには、結婚・子育てに希望がもてるよう、小学生から社会人までの各年代でライフプランを学び考える機会を充実させながら、これまで以上に家庭や職場、地域全体で結婚・子育てを応援する気運の醸成を図るとともに、あきた結婚支援センター(以下「センター」という)を本県の結婚支援の中心に位置付けながら、結婚・出産につながる独身者の出会いの機会の創出に向けた取組の拡充を図る必要がある。 秋田県では、県政運営指針「新秋田元気創造プラン(2022～2025年度)」において、県民誰もが将来にわたって生き生きと暮らせる地域社会をつくるため、「未来創造・地域社会戦略」を掲げ、次の6つの「目指す姿」に向けて取り組んでいる。 目指す姿(1): 新たな人の流れの創出 目指す姿(2): 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現 目指す姿(3): 女性・若者が活躍できる社会の実現 目指す姿(4): 変革する時代に対応した地域社会の構築 目指す姿(5): 脱炭素の実現を目指す地域社会の形成 目指す姿(6): 行政サービスの向上 ＜本個別事業の位置づけ＞ 目指す姿(2)結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現に位置づけられており、その達成に向けた取組として、結婚を希望する人に対する出会いの機会の提供など、結婚につながる総合的な支援を行うこととしており、本個別事業は、その一環として結婚を希望する独身者の婚活に必要なスキルの向上と出会いの機会創出を行うものである。			
	(本個別事業における現状と課題) 課題1 新型コロナウイルス感染症の影響により、出会いの機会が減少 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、祭りや大規模イベント等の中止が相次ぎ、異性と出会う機会が少なくなった。 ・「応援隊」による対面での出会いイベント中止・自粛が続いたため、開催回数が減少した。 課題2 普段の生活において、同年代の異性と話す機会がない。 ・結婚を希望する独身者の中には、恋愛経験が少ないほか、普段から異性と話す機会が少ないことから、異性と話すことを苦手に思い、出会いイベント等の場において上手く自分をアピールできないとの声が一定数あり、自分のコミュニケーション力に不安を感じている独身者が多い。R4の婚活力向上セミナー・交流イベントアンケートでは、年代が近い方々との交流を望む声があった。			
	※用語説明 ・すこやかあきた出会い応援隊(以下「応援隊」という): 結婚を希望する独身者に対し、出会いの機会を創出するため、センターに登録して出会いイベントや婚活スキル向上セミナー等を開催する民間団体等である。 ・結婚サポーター(以下「サポーター」という): 地域の結婚相談役として県に登録し、結婚を希望しているがサポートを必要とする方に、お世話やアドバイスをする者。			
	(課題への対応) 課題1への対応 ・県が先頭となって出会いイベント等を開催し、減少した対面での出会いの機会の回復を図る。 課題2への対応 ・結婚を希望する独身者に対し、年代に応じたコミュニケーション能力向上などのスキルアップを行う。 ・イベントでは、結婚サポーターが独身者(希望者)の相談を受け付け、フォロー等を行う。			

個別事業の内容	番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
	1	婚活スキル向上セミナー	回数:2回 参加者数:各回40人(男女各20人)計80人 内容: ・結婚を希望する独身者が、自信を持って婚活に臨めるよう、異性とのコミュニケーションスキルを高めるセミナーを開催する。 ・年代に対応したコミュニケーション法や自己PR法等を学べるセミナーとし、対象年齢を設ける。 ・セミナー終了後、希望者には結婚サポーターへの個別相談を可能とする。	○	○
	2	婚活スキル向上交流会	回数:2回 参加者数:各回40人(男女各20人)計80人 内容: ・セミナーで学んだ内容を実践できる場としての交流会とする。 ・セミナーの感想や結婚の希望を叶えていく上での意識変容を把握するとともに、次年度以降のステップアップに結びつけるため、参加者を対象としたアンケートを行う。 ・結婚サポーターによるフォロー、個別相談対応者への見守り支援を行う。 ・飲食費や体験料等の参加者に還元する費用については、参加者からの費用徴収により充当し、当計画には含まないものとする。	○	○
	3				
	※(注)3【次年度以降に向けた事業の方向性】 令和6年度以降においても、結婚を前向きに考えたい独身者のニーズを把握しながら、異性と出会う機会を増加させるとともに、結婚の希望をかなえるために積極的な活動ができるよう支援する。 【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】				

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目	単位	目標値	現状値
	合計特殊出生率	%	1.39 (令和5年)	1.22 (令和3年)
	あきた結婚支援センターへの成婚報告者数	人	160 (令和5年)	129 (令和3年)

参考指標 ※(注)5	項目	単位	直近の実績	
	合計特殊出生率		1.22 (R3)	
	婚姻件数	件	2,686 (R3)	
	婚姻率		2.8 (R3)	

個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目	単位	目標値	現状値
	セミナーの参加者数	人	80	59 (R4)
	セミナーの募集の定員に対する参加者数の割合	%	100	33 (R4)
	交流会の参加者数	人	80	59 (R4)
	交流会募集定員に対する参加者数の割合	%	100	33 (R4)
	交流会においてのお引き合わせ成立者数	人	20	39 (R4)
	セミナー・交流会を通して、婚活に対し自信がついた参加者の割合	%	80	46 (R4)
	男女間の仲介等を行うためイベントにサポートとして参加した結婚サポーターの人数	人	15	7 (R4)
	セミナー・交流会参加者の満足度	%	60	

他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	・本個別事業の実施について、各市町村HPや広報紙への掲載など、市町村と連携して一層の周知に努める。 ・市町村結婚支援担当者会議を開催し、情報共有を図るとともに県と市町村との連携を強化する。
--------------------------------	---

民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	会員団体及び「応援隊」への登録を促すとともに、「サポーター」の協力を得ながら、官民協働で結婚を支援する活動を広めていく。 ※用語説明 会員団体:結婚を希望している独身従業員の出会いや結婚を応援するため、「センター」に登録している企業・団体。
---------------------------------	--